

第2期 とやま呉西圏域都市圏ビジョンのポイント

1 新たな潮流への対応

(1) SDGs のさらなる推進

⇒各連携事業で 17 Goals のラベリングを実施し、連携施策単位でビジョンに掲載。

(2) Society5.0 の実現に向けた IoT・AI、5G 等未来技術の活用

⇒連携事業単位で未来技術を積極的に活用することを検討していく。

2 基本目標の指標を変更

圏域の役割3点のうち、「圏域全体の経済成長のけん引」に係る指標を以下のとおり変更。
出典元に全国的な統計値を採用し、他地域との比較が容易となる。

【旧：第1期】付加価値額（GRP）

【新：第2期】(1) 製造品出荷額等 ※出典：経済産業省「工業統計調査」

(2) 総所得金額等 ※出典：富山県「市町村税の状況」

〔考え方〕 工業統計調査から圏域の基幹産業である製造業の市場規模を捕捉する一方、課税される所得の増減から圏域住民の暮らしの豊かさを評価する。2本の指標から複合的に「経済成長」を推し量る指標とするもの。

3 パブリックコメントへの対応

パブリックコメントを実施し、寄せられた意見を反映。詳細は資料No. 3のとおり。

4 連携事業検討会の実施

第1期で取り組んだ連携事業について評価・検証を行い、精査した。また、新型コロナウイルスの影響による社会の変化も勘案しながら、新規事業等について協議。

結果、(原案)に掲載した連携事業の一覧は資料No. 4のとおり。

【旧：第1期】全33事業 ※大事業ベース

【新：第2期】全31事業（継続・拡充：29事業、完了・廃止：4事業、新規：2事業）

〔第2期における新規事業〕

- ・17 ICT教育環境に関する調査・研究 ※詳細はビジョン（原案）P36 参照
- ・18 歴史文化の学び交流事業 ※詳細はビジョン（原案）P36 参照

〔第2期における既存事業拡充の一例〕

- ・22 就業マッチング支援事業 ※詳細はビジョン（原案）P37 参照